石油連盟の概要 2026

Petroleum Association of Japan

石油連盟 Fuel+

事業内容

Activities

石油は現在でも一次エネルギー供給の最大シェアを占め、わが国の産業活動や国民生活にとって欠くことのできない重要な基礎物資ですが、必要とする原油のほぼ全量を、中東地域をはじめとする産油国から輸入しています。このため、石油製品を安定的かつ効率的に供給することは、わが国のエネルギー政策の中心的課題です。特に、2026年2月末からの中東情勢緊迫化により、エネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡が事実上封鎖され、世界のエネルギー供給に大きな影響を与えることとなり、改めて石油の安定供給の重要性が認識されました。石油業界はホルムズ海峡外からの代替調達に最大限努めるとともに、備蓄も活用し、石油の安定供給確保に取り組んできました。また、世界的な気候変動対策の動きの中で日本でも「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言されたことを受け、石油連盟では「石油業界のカーボンニュートラルに向けたビジョン（目指す姿）」を策定し、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献するため、様々な取り組みに挑戦しています。

石油連盟（Petroleum Association of Japan）は、1955年11月、わが国の石油精製・元売会社、すなわち、原油の輸入・精製、石油製品の全国的な販売を行っている企業の団体として創立され、現在10社の会員会社で構成される基幹的産業団体です。石油連盟は、石油業の健全な発達を図り、もって国民経済のサステイナブルな発展に寄与することを目的として、下記の事業を行っています。

The Petroleum Association of Japan (PAJ) was established in November 1955 as a private-sector, non-profit industry association made up of domestic petroleum refiners and primary distributors. At present, PAJ consists of ten member companies. PAJ is aiming to achieve the healthy development of the petroleum industry and contribute to the sustainable development of the national economy, primarily through the activities described below.

1. 石油に関する知識の啓発および普及宣伝に関すること
   Disseminating information and conducting PR related to petroleum
2. 石油業に関する意見の発表および建議に関すること
   Expressing opinions related to the petroleum industry
3. 内外石油事情の調査研究および統計に関すること
   Carrying out research and study, and statistics activities related to petroleum
4. 石油に係る気候変動問題およびカーボンニュートラルの調査研究に関すること
   Carrying out research and study activities on the effects of petroleum on climate change issues and on carbon neutrality
5. 大規模石油災害対応体制整備事業等補助事業に関すること
   Undertaking government-subsidized programs, such as the “Major Oil Spill Response Program”
6. 会員会社相互の連絡、融和および親睦に関すること
   Improving communication among member companies to cultivate a sense of community
7. その他本連盟の目的を達成するために必要なこと
   In addition, carrying out programs that lead to achieving the objectives of PAJ

※石油には、合成燃料（e-fuel、SAF等）、水素、その他CCUS等のカーボンニュートラル関連技術により低炭素化・脱炭素化した新燃料等を含みます。

* “Petroleum” referred to above includes new fuels, such as e-fuels, hydrogen, and CCUS, that have realized low carbonization or decarbonization through technology related to carbon neutrality.

役　員

Executives

石油連盟の最高意志決定機関は総会、理事会です。理事会は会員会社の代表者で構成され、会長・副会長・専務理事・常務理事は理事の中から理事会で選任されます。

副会長
Vice-President

宮田 知秀 MIYATA Tomohide
ENEOSホールディングス株式会社
代表取締役社長
Representative Director, CEO
ENEOS Holdings, Inc.

会　長
President

木藤 俊一
KITO Shunichi
出光興産株式会社
取締役会長 取締役会議長
Director, Chairman and
Chairperson of the Board of Directors,
Idemitsu Kosan Co., Ltd

副会長
Vice-President

西 克司 NISHI Katsushi
コスモ石油株式会社 代表取締役社長
President, Representative Director,
Chief Executive Officer
Cosmo Oil Co., Ltd.

専務理事
Executive Managing Director

鈴木 英夫 SUZUKI Hideo

常務理事
Managing Director

及川 洋 OIKAWA Hiroshi

理事 Managing Directors

槇 啓 MAKI Hajime
東亜石油株式会社　代表取締役 社長執行役員
President and CEO, Representative Director　TOA OIL CO., LTD.

井上 啓太郎 INOUE Keitaro
鹿島石油株式会社　代表取締役社長
President, Chief Executive Officer　KASHIMA OIL CO., LTD.

山本 堯大 YAMAMOTO Takahiro
太陽石油株式会社　代表取締役社長
President & CEO　Taiyo Oil Company, Limited

前田 健也 MAEDA Kenya
富士石油株式会社　代表取締役社長
President and Representative Director　Fuji Oil Company, Ltd.

髙山 直樹 TAKAYAMA Naoki
コスモ石油マーケティング株式会社　代表取締役社長
President, Representative Director　Cosmo Oil Marketing Co., Ltd.

若澤 雅博 WAKAZAWA Masahiro
キグナス石油株式会社　代表取締役社長
President　Kygnus Sekiyu K.K.

飯田 聡 HANDA Satoshi
昭和四日市石油株式会社　代表取締役社長
President　SHOWA YOKKAICHI SEKIYU CO., LTD.

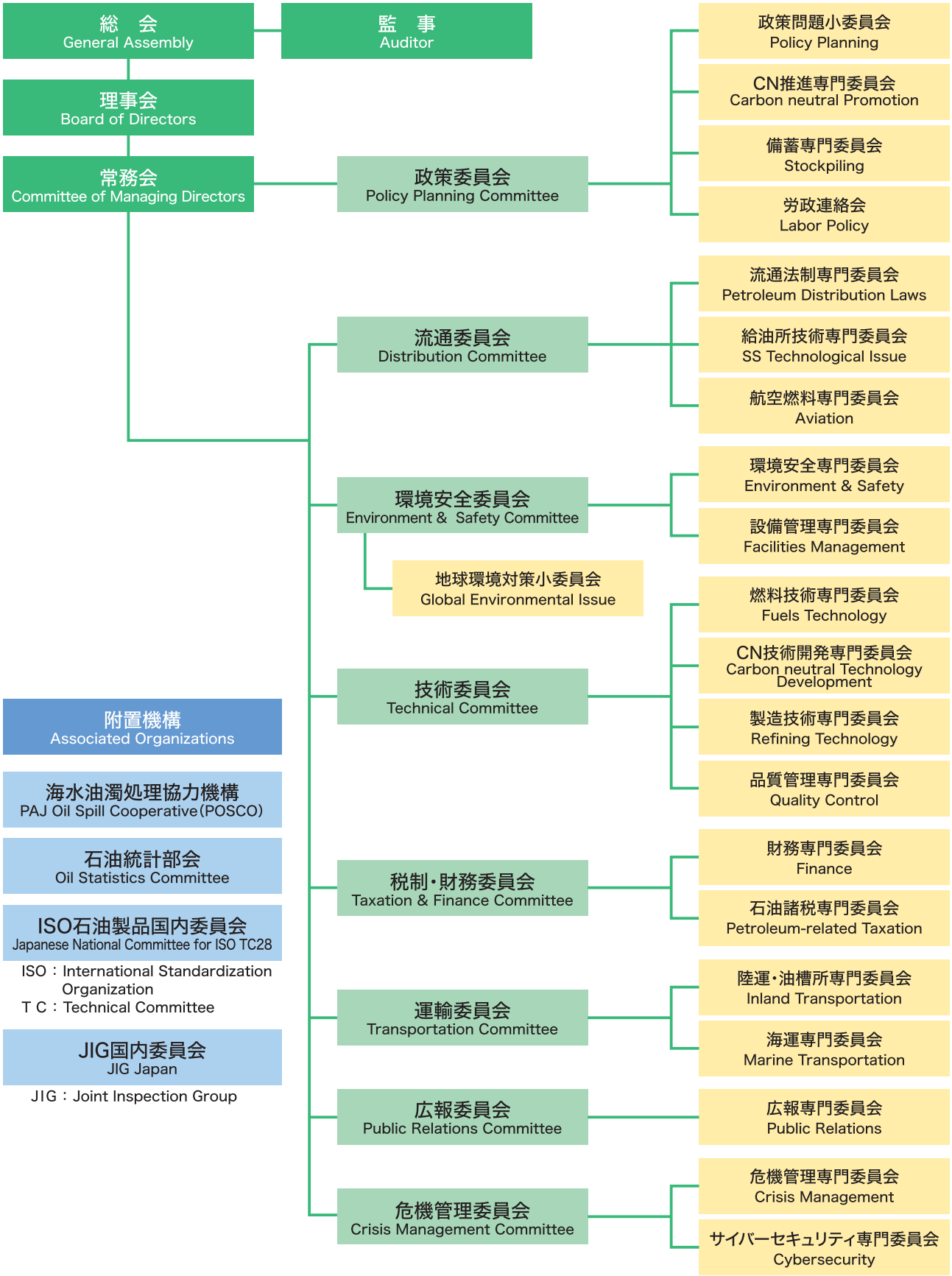
小野 森彦 ONO Morihiko
石油連盟　事務局長
Secretary　General

※会長・副会長・専務理事・常務理事は理事を兼ねます

委員会の組織

Organization of the Committee

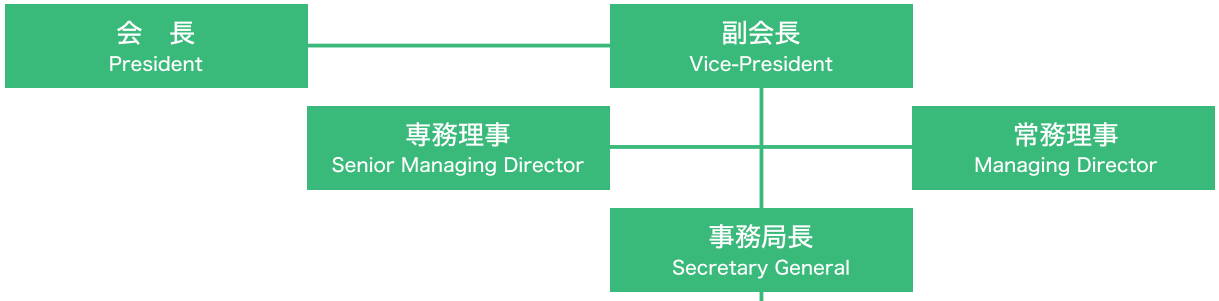
石油連盟は、理事会の下部機構として常務会、8の委員会、21の小委員会・専門委員会を設け、その他に石油連盟会員会社以外の参加・協力を得て組織される4つの附置機構を加えて、全体の委員会組織を構成しています。



事務局の組織と職務

Organization and Responsibilities of the Secretariat

事務局は、5部、12グループ・室で構成され、それぞれ下記の業務を行っています。



企画総務部 Planning & General Affairs Department	企画グループ Policy Planning	①企画　②法規　③政策的渉外　④石油諸税 ⑤各部との政策的調整
	財務・統計グループ Finance & Research Statistics	①企業経理　②企業税制　③金融　④設備投資 ⑤損害保険　⑥内外石油事情およびエネルギーの調査 ⑦石油統計　⑧原油・石油製品供給統計週報等
	総務・会計グループ General Affairs & Accounting	①総会・理事会等　②人事および厚生　③文書 ④庶務および用度　⑤労働政策　⑥危機管理 ⑦予算および決算　⑧経理および出納　⑨一般的渉外 ⑩各部との一般的調整　⑪他部に属さないこと
	秘書グループ Secretariat	①秘書
	広報室 Public Relations	①国民・消費者等への広報　②刊行物の制作・管理 ③その他広報一般
カーボンニュートラル推進部 Carbon neutral Promotion Department	カーボンニュートラル推進グループ Carbon neutral Promotion	①カーボンニュートラルの推進
	カーボンニュートラル技術開発グループ Carbon neutral Technology Development	①カーボンニュートラルの技術開発
流通業務部 Business Environment Department	流通調査グループ Distribution Research	①石油流通 ②備蓄および緊急時対策 ③航空燃料供給
安全管理部 Safety Management Department	安全技術グループ Safety Technology	①環境保全　②環境管理　③保安および防災 ④労働安全　⑤設備管理
	油濁対策室 Oil Spill Response	①大規模石油災害対応体制整備事業 ②海水油濁処理協力機構 ③石油産業の経営体質強化に資する基盤整備
技術環境部 Technology & Environment Department	燃料技術グループ Fuel Technology	①製品利用技術　②石油規格 ③品質管理および製品安全
	環境技術グループ Environment Technology	①地球温暖化対策　②石油精製技術

*この他に各部にまたがる特定業務を処理するプロジェクトチームが設置されています。

会員会社（10社）

Members

出光興産株式会社 Idemitsu Kosan Co.,Ltd.
〒100-8321 東京都千代田区大手町1-2-1　Tel.0120-132-015（お客様センター）
https://www.idemitsu.com/jp/

東亜石油株式会社 TOA OIL CO., LTD.
〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町3-1　Tel.044-280-0600（代表）
https://www.toaoil.co.jp/

鹿島石油株式会社 KASHIMA OIL CO., LTD.
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-2（ENEOSビル）　Tel.0120-56-8704（ENEOSお客様センター）
https://www.kashima-oil.co.jp/

太陽石油株式会社 Taiyo Oil Company, Limited
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3（日比谷国際ビル）　Tel.03-3502-1601（代表）
https://www.taiyooil.net/

富士石油株式会社 Fuji Oil Company, Ltd.
[東京]〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-29（ガーデンシティ品川御殿山）　Tel.03-6277-2891（代表）
[袖ケ浦]〒299-0266 千葉県袖ケ浦市北袖1番地　Tel.0438-63-7011（総務）
https://www.foc.co.jp/

コスモ石油株式会社 Cosmo Oil Co., Ltd.
〒104-8322 東京都中央区京橋1-7-1（TODA BUILDING）　Tel.0120-530-372（カスタマーセンター）
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/about/company/group/cosmo-coc.html

コスモ石油マーケティング株式会社 Cosmo Oil Marketing Co., Ltd.
〒104-8323 東京都中央区京橋1-7-1（TODA BUILDING）　Tel.0120-530-372（カスタマーセンター）
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/about/company/group/cosmo-com.html

ENEOS株式会社 ENEOS Corporation
〒100-8162 東京都千代田区大手町1-1-2（ENEOSビル）　Tel.0120-56-8704（ENEOSお客様センター）
https://www.eneos.co.jp/

キグナス石油株式会社 Kygnus Sekiyu K.K.
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-2（大手町プレイスイーストタワー 10階）　Tel.03-5204-1600（代表）
https://kygnus.jp/

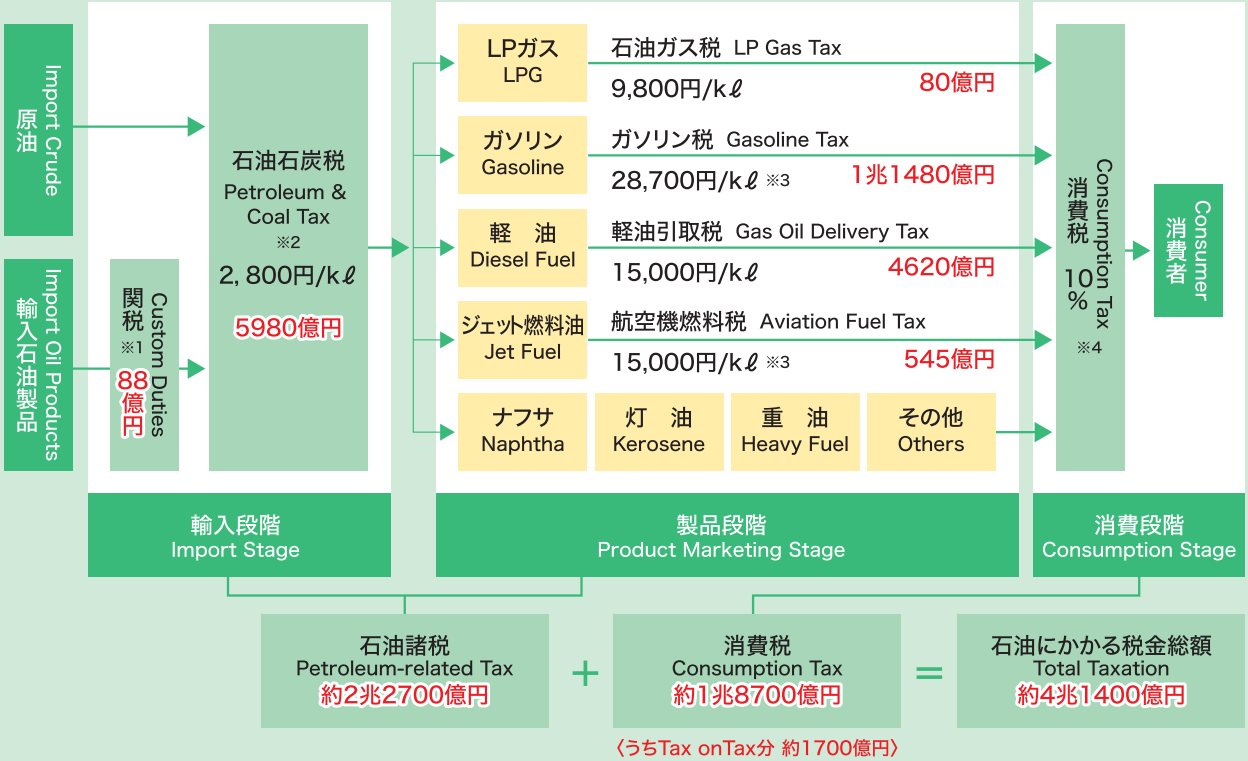
昭和四日市石油株式会社 SHOWA YOKKAICHI SEKIYU CO., LTD.
〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1番地　Tel.059-347-5511（代表）
https://syskk.co.jp/

石油産業の現状

Overview of the Petroleum Industry in Japan

原油・石油製品（燃料油）輸入量 Crude and products import	1億6743万kℓ（2025年度） 167.4 million kℓ (FY2025)
原油の輸入依存度 Dependence on import	99.7%（2025年度）(FY2025)
製油所数 Number of Refineries	19か所（2026年3月末現在）(As of March,2026)
原油処理能力 Refining capacity	311万400バレル／日（約494,500kℓ／日）（2026年3月末現在） 3,110,400 B/D (As of March,2026)
資本金総額 Capital Stock	2585億円（2025年度） 258.5 billion yen (FY2025)
年間売上高 Annual sales	20兆5448億円（2025年度） 20,544.8 billion yen (FY2025)
石油精製・元売従業員数 Total employment (refining & primary distributing)	約21,642人（2026年3月末現在） persons (As of March,2026)
SS（給油所）数 Number of service stations	26,412か所（2026年3月末現在）(As of March,2026)

石油にかかる税金（2026年度当初予算）Petroleum-related Taxes (initial budget for FY 2026)



※1 2006年4月より原油関税（170円／kℓ）は撤廃され、石油製品関税のみとなった（関税収入は2024年度輸入実績に基づく石油連盟試算値）
※2 石油石炭税は原油、輸入石油製品、石炭、ガス状炭化水素（国産天然ガス、輸入LNG、輸入LPG等）が課税対象
（税収には原油・輸入石油製品以外への課税分が含まれる）
※3 沖縄県にはガソリン税、航空機燃料税（沖縄路線および特定離島路線に対する税率）の軽減措置がある
※4 消費税収は石油連盟による試算値（航空機燃料税、特別徴収義務者からの委託販売にかかる軽油引取税にはTax on Taxはない）

出所：財務省主計局資料、総務省自治税務局資料等

石油連盟は、2022年5月に定款を変更し、事業対象を合成燃料、水素、その他の新燃料等に拡大しました。これに合わせ、石油連盟の新しい取り組みを広くPRするべく、新しく愛称（シンボルマーク）として「Fuel＋」を設定し、さらにキャッチフレーズを「サステイナブルなエネルギーを社会に」としました。

「Fuel+」（フュエルプラス）に込められた意味

- 今後も石油連盟の主要な事業領域となる「Fuel」（燃料）を掲げ、合成燃料をはじめ、多様な燃料を取り扱っていくことを表しています。
- 石油連盟の事業領域の燃料分野以外への拡がりや、今後供給する燃料にも新たな付加価値を与えていくこと、さらには国民生活・国民経済の発展にも寄与していくことを「＋」で表しています。
- これまでの石油連盟のロゴマークに使われていた3色（赤・橙・青）に、カーボンニュートラルやサステイナブルな社会に向けた更なる環境対応を象徴する「緑」を加え、新しいステージを表しています。

The PAJ Symbol

In 2022, the Petroleum Association of Japan marked the expansion of business being undertaken not only for petroleum but also into e-fuels, hydrogen, and other new fuels, by establishing “Fuel+” as its new symbol and “Sustainable Energy for Society” as its slogan.
The word “Fuel” represents what will continue to be the primary business of PAJ, but it also represents the diverse fuels, such as e-fuels, that will be handled going forward.
The “+” mark represents the expansion into other business domains, as well as the new value being added to the fuel that is provided, and contribution to the development of the national economy.

石油連盟 Fuel＋

サステイナブルな
エネルギーを社会に

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2（経団連会館17F）
TEL 03-5218-2305（広報室）　FAX 03-5218-2321
Keidanren Kaikan, 1-3-2, Ohtemachi,
Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004
Public Relations
Tel. 81-3-5218-2305　Fax. 81-3-5218-2321
https://www.paj.gr.jp
https://twitter.com/paj_sekiren

2026年8月